

モニタリング報告書

利用者名: 菅田 芽衣 区分 重心 相談支援事業所名 花こどもリハビリテーションセンター 担当者 桃木 つぼみ 印

受給者証番号 サービス利用計画書作成日 平成 27 年 8 月 1 日

モニタリング実施日 平成 28 年 1 月 15 日

ニーズ	サービス提供状況	本人・家族の感想・満足度	達成度	今後の課題・留意事項	計画変更の必要性
在宅で体調を崩さず、元気に過ごしてほしい。	定期受診や、訪問看護により、日々の健康管理が行われている。	体調に不安があるときは、訪問看護師に相談できるようになった。12月にRSに感染し、緊急入院したことが1回あったが、それ以外は安定して過ごすことができた。	○	訪問看護師から「短期入所先の看護師から入浴の方法や健康管理について教えてもらいたい」との希望があるためさくら園利用中の見学を依頼していきます。	有 無
平日もお風呂に入れてあげたい。	訪問入浴を週1回、訪問看護師とヘルパーによる入浴が週2回行われるようになり、週3回の入浴が提供されている。	看護師さんとヘルパーさんで、お風呂に入れてもらっている。皮膚のかぶれもなくなり本当に良かった。	◎	訪問入浴が月曜日に設定されており、月曜日は祝日が多く中止になってしまうことがあるため、お母様から曜日を変更してほしいとの希望がありました。	有 無
通院時の移動が不安である。	家族が運転する車にヘルパーが同乗し、車中での見守りや喀痰吸引により、安全に通院できている。	車に乗ると、痰が上がってきて途中で吸引で車を止めることが多かったが、ヘルパーさんが隣に乗ってくれて、父親がいなくても安心して運転できるようになった。短期入所の帰りは土日にして父親と迎えにいけるが、行きは平日なのでヘルパーさんについてきてもらいたい。	○	短期入所利用時は、利用前に受診や訓練を組み合わせ、通院介助を利用できるようにしていきます。	有 無
付き添いをしてもらいたい外出したい。	通院や入浴、短期入所などで余裕がなく、また、天候や体調により、散歩やお楽しみのための外出はほとんどできなかった。	体も気持ちも少し余裕ができてきたし、気候もよくなってきたので、これからはヘルパーさんと外出をして、外気浴をさせてあげたい。	△	近くの公園までのお散歩など、ヘルパーさんに付き添ってもらって無理のない外出の計画を立てましょう。	有 無
母親の介護負担が過重である。	医療型短期入所の利用に慣れ、十分な医療管理のもと安心して利用できるようになり、家族の介護負担が軽減される。	月に5日程度短期入所を利用できるようになった。最初は不安だったが医者や看護師からアドバイスももらい安心して預けられる。自分もゆっくり体を休めることができるようになった。	◎	短期入所の利用先が1か所では、今後、利用を断られることもあるので、もう1か所利用できるところを増やしていきます。	有 無
在宅サービスについて何が利用できるのか教えてほしい。	在宅サービスを紹介し、利用に向けた支援を行う。ご自宅で連携会議を開催し、訪問看護、ヘルパー、PT、訪問入浴事業所が参加しました。ご家族が必要とする支援内容、回数、時間、曜日等を確認し、各事業所の都合等を調整した。	何があるのか、どう使えば良いかわからなかったいろいろなサービスを利用できるようになり、自分の体が少し楽になったと実感している。芽衣のお友達作りとか、やってあげたいことが増えてきた。	○	芽衣ちゃんの在宅生活も安定してきました。もうすぐ2歳になる芽衣ちゃんがお友達と遊び成長発達が促されるよう、医療ケアがあっても療育活動に参加できる場を探していきます。	有 無

* 達成度は◎、○、△、×で記入する。

利用者同意署名欄	平成 28 年 1 月 15 日	菅田 裕子
----------	------------------	-------